

陳 情	受 理 番 号	65	受 理 年 月 日	平成 30 年 11 月 30 日	付 託 委員会	厚生経済
件 名	第一牧志公設市場再整備事業の市場事業者の入居について					

件名 第一牧志公設市場再整備事業の市場事業者の入居について
(陳情)

陳情の趣旨

現市場から仮設市場及び新市場へ移転する 2 階食堂の入居数を維持して欲しい。

陳情の理由

私は那覇市の公募により、平成 28 年 2 月より公設市場 2 階にてお食事処 美ら華を営業開始いたしました。

従業員一同、お客様に当店の料理はもちろん、沖縄を代表する観光地である公設市場の良いイメージを壊さないよう日々努力しております。

営業開始当初より多くのお客様にご来店いただき、スタッフは日本語と中国語、英語、ベトナム語に対応しており、お客様や 1 階の鮮魚店に大変喜ばれております。特に海外からのお客様が多く、1 階店舗にて購入された食材を当店で調理する持ち上げスタイルは好評いただいております。また国内外問わず旅行社や通訳ガイドとも提携しており、多数の観光客の方にご来店いただいております。

しかしながら平成 31 年に仮設市場移転に伴い、現状では当店の入居の許可は無く、食堂の数が減ります。

当初の計画では、仮設市場は平屋造りの予定だったと伺っております。一部の移転計画が変更になり、予想より仮設市場への移転希望者が多く平屋では受け入れ出来なくなり、2 階建てに変更することになったと伺っております。その際に、2 階店舗数など再検討し増やす事は出来なかったのでしょうか。

仮設市場及び新市場建設の際は、食堂数は現在の数を維持しないと、集客数は保てないのではないのでしょうか。

2階飲食店街の当店側半分の店舗は18時頃までの営業が多い状況ですが、当店の営業時間は9時～21時まで、定休日は市場の休日のみと隣近所の店舗より長く、来店するお客様や1階鮮魚店より大変喜ばれております。以前は、18時以降は電気が消され活気がなかったが、当店入居後は活気が出てきました。市役所関係者の方や、市場内業者の方も、みなさん周知の通りです。

クルーズ船入港日には、待ち客が出るほどの忙しさです。中には、待ち時間が長すぎると怒って帰られるお客様もいらっしゃいます。観光時間が短く限られているクルーズ船のお客様には特に公設市場観光のイメージダウンに繋がりますし、良くない評判も広がることになります。

沖縄は観光地の為夏休み、春休み、年末年始等、連休時には日本人観光客も多く訪れます。しかし昨今、公設市場を訪れる日本人観光客は減少しています。食堂が減るということは、来客減少に影響が出ます。なぜ食堂の数を、現在より減らすのでしょうか。公設市場にとって、プラスになる事は無くマイナスになります。

クルーズ船入港日は、2階食堂には多くのお客様が殺到し混雑します。鮮魚店は、2階の食堂への持ち上げに対応する店舗があるから鮮魚を販売し、売り上げがあります。食堂は、鮮魚店のお客様が来てくださるから売り上げがあります。いわば共存共栄の関係です。一方がなくなればこのバランスが崩れてしまい、鮮魚店には今後の営業に大きな影響が出るとの懸念の声をいただいております。

沖縄県は今後もアジアの中心を目指し、外国人観光客をさらに呼び込もうとしています。来年も多数のクルーズ船の入港が予定されているようですが、現状の集客を維持する為には、仮設市場でも現在の食堂の店舗数を維持し、お客様に満足いただける対応が必須です。

私共那覇市民の一員として、那覇市の観光の発展に今後も貢献していきたい所存です。

何卒、公設市場の状況をご理解いただき、今後も公設市場の更なる発展に向けて現状の食堂店舗数を維持する為に、仮設市場と新市場の入居店舗数を再検討していただきたく重ねて、陳情申し上げます。